

## 『奈良県防災ポケットマニュアル』作成の趣旨

令和6年2月29日

### 1 目 的

令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、北陸地方に甚大な被害がもたらされた。

我が国で発生が懸念されている南海トラフ巨大地震は100年～150年の周期で発生しており、直近の発生から既に70年以上が経過していることから、次の大規模地震の切迫性が高まっている。

また、奈良県においては、内陸型地震についても、奈良盆地東縁断層帯や、中央構造線断層帯などによる地下直下型地震が発生した場合には、南海トラフ巨大地震以上の被害が想定されている。

このたび、県教育委員会では、火災や豪雨も含め、いつ起こるか分からない災害に備え、いざという時に状況に応じた適切な対応により、自助につながる避難行動を選択することができる生徒を育成することを目的に、常にポケットに入れて携帯が可能な「奈良県防災ポケットマニュアル」を作成した。

### 2 対 象

県立中学校及び県立高等学校の生徒を対象とする。

### 3 配布方法

県教育委員会健康・安全教育課のホームページにデータを掲載し、各学校でダウンロードのうえ、印刷して生徒に配布する。

奈良県教育委員会事務局  
健康・安全教育課